

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト：osk\_CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東洋冷蔵株式会社 大阪支店 (仮称)	階数	地上4F
建設地	大阪府泉佐野市住吉町27番14、15	構造	S造
用途地域	市街化区域、防火地域指定なし	平均居住人員	50人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2016年2月15日
敷地面積	7,590㎡	作成者	(株)奥村組
建築面積	1,980㎡	確認日	2015年2月15日
延床面積	2,790㎡	確認者	(株)奥村組



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 87%

③上記+②以外の 87%

④上記+ 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 情報化時代に相応しい高度情報通信環境となるよう計画し、建物外観は近隣建物や周辺環境との調和に配慮した色調とした。	<b>その他</b> 特になし。	
<b>Q1 室内環境</b> 内装仕上げ材は化学汚染物質の発生しないものを採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐久性があり維持管理のしやすい材料を採用している。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 可能な限り緑地および空地を確保し敷地内の環境向上に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> 設備機器については出来る限り高効率のものを採用している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型器具、自動水栓器具を採用し水資源の節約に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な光源を採用して光害のないよう計画し、建物外壁は反射光に影響ないように配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0110

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>		建物名称	東洋冷蔵株式会社 大阪支店 (仮称) 第3工場 増設工事					
		建設地	大阪府泉佐野市住吉町27番14、15、16、17					
		用途/区分	工場 事務所					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					<b>B+</b>		
	CO2削減					<b>4</b>		
	省エネ対策					<b>3</b>		
	みどり・ヒート アイランド対策					<b>2</b>		
<b>再生可能エネルギー 利用施設の導入状況</b>		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
<b>エネルギー消費量の報告</b>						<b>報告しない</b>		
<b>【評価項目】</b>								
<b>省エネルギー対策</b>		<b>① CO2削減</b>						
		<b>② 省エネ対策</b>						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				<b>3.5</b>	<b>4</b>	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	<b>3.0</b>	<b>3</b>		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					<b>3.1</b>	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					<b>3.0</b>	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					<b>4.6</b>	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					<b>3.0</b>	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					<b>3.4</b>	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
<b>みどり ヒートアイランド対策</b>		<b>③ みどり・ヒートアイランド対策</b>						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				<b>1.0</b>	<b>2</b>	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				<b>2.0</b>		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				<b>2.0</b>		
<b>その他</b>								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項		特になし。						